

コード	501040703
記入日	H26.6.2

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	青山 一信

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	魚目小学校図書室改修事業
----------	--------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 25 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	2
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1
事務事業コード	5010407	事務事業名称	小学校施設整備事業費	細目コード	966
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民		(対象指標1)	21,669人 (H26.11.1現在)			
(対象2) 魚目小学校		(対象指標2)	1校、141人 (H25.5.1現在)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・魚目小学校図書室改修工事 →校舎棟壁面改修、既存建具撤去1.0式 →アルミ製建具引き違い扉取付 L=1,800mm H=2,050mm	① ***** 図書室改修工事 (達成率分析)	1.0式	100%	扉取付工事 L=1,800mm H=2,050mm	***** 平成25年度
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
	・近年、図書館の利用者は増えつつあり、今後の図書館サービスや利便性の向上が課題となっている。その一方で、中央図書館新魚目分館は、魚目小学校図書室と兼用で整備されており、小学校の正面玄関が一般利用者の出入り口となっていることから、不特定多数の者が出入りするようになってきている。平日は教職員がいるものの、休日及び祝祭日进行を考えると、社会的にも学校での事件事故が相次いでいることから、学校の安全管理が懸念されており、よりよい教育環境の推進を目指して、既存図書室の一部壁面を改修し、引き違い扉を設けるものである。	① ***** 安全管理・確保の向上 (達成率分析)	-	-	-	***** 平成26年度以降
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 25 ~ H 25		24年度以前	25年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	②					
成果指標	①					
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	2,200	2,149		2,200	2,149
直接事業費 A	千円	1,500	1,449		1,500	1,449
人件費 B	千円	700	700		700	700
内 従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1
人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 国補助金	千円					
財 県補助金	千円					
源 起 債	千円					
内 その 他	千円					
財 一般財源	千円	2,200	2,149		2,200	2,149

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	本事業の実現は予てからの地域住民のニーズであり、図書館利用者に待たれていたものであることから必要である。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	扉を設けたことにより、児童及び地域住民双方の利便性の向上が図られた。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	扉の設置によって、児童と地域住民に可能な限り最善の図書館サービスを提供するために公共図書館と学校とが連携を図り、読書教育を支援するとともに、効率的発展的な取り組みとして今後期待される。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>地域住民向け扉の設置によって、中央図書館新魚目分館と魚目小学校図書室とを兼用で整備したことが、双方ともに充実が図られ、今後の読書教育に向けた新たなモデルケースとして発展することを期待したい。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>今後も利用者に支障をきたすことがないように、適正な図書機能の充実・維持管理に努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。